

レジメン名 : キイトルーダ+CBDCA+PEM 3週毎

疾患名 : 非小細胞肺がん

投与間隔 (1コース期間) : 21日

総コース数 : 4コースまで

特記事項 : アブレヒタント、パンピタン末、メチコパール注  
処方必要

投与 順序	レジメン内容 (医薬品名)	投与量	単位 (mg/㎡, V等)	投与方法 (手技)	投与時間 (速度等)	投与日 (Day1等)	備考 (内服薬の用法等)
Rp.	1 生食100mL	1 本		点滴静注		Day1	アブレヒタント125mg内服確認すること フィルター付きセットを使用すること ルート確保用
	キイトルーダ注	200	mg/body				
	2 生食100mL	1 本		点滴静注	30分	Day1	
	ハロセトロン注0.75mg/50mL	1 袋					
	3 デキサート注1.65mg	3 管		点滴静注	15分	Day1	
	ペムトレキセド	500	mg/㎡				
	4 生食100mL	70	mL	点滴静注	10分	Day1	生食30mL抜く
	カルボプラチン注	AUC 5					
	5 生食250mL	1 袋		点滴静注	60分	Day1	
	6 生食50mL	1 本		点滴静注		Day1	フラッシュ用
	※アブレヒタント: Day1に125mg、Day2-3に80mg内服						
	パンピタン原末(葉酸): 0.5mg/日 内服。ペムトレキセド注開始の7日以上前から、投与中止後22日まで可能な限り投与						
	メチコパール注: 1mg/回 筋注。ペムトレキセド注開始の少なくとも7日前に投与し、投与期間中及び中止後22日目まで9週毎に投与						
	※ペムトレキセドは投与量に応じて必要量を抜き取り、日局整理食塩液に混和して100mLとして用いる。と記載があるが、濃度などを規定するものではなく先発品と同じ条件にするための調製とメーカーより情報提供されました。おおよそ100mLになるように生食は70mL使用することにしました。						

#### 減量基準

減量規定 (副作用名等)	減量条件 (検査値等)	抗癌剤名	減量割合等 (減量後の割合又は投与量)

#### 参考文献

Pembrolizumab plus Chemotherapy in Metastatic Non-Small-Cell Lung Cancer. N Engl J Med. 2018 May 31;378(22):2078-2092.